

週刊

# 新社会

発行所：新社会党 発行者：矢田部 理  
〒104-0032 東京都中央区八丁堀4-3-7 三越ビル八丁堀6F  
TEL. 03 (3551) 3980 FAX. 03 (3551) 6406  
振り替 00140-0-149727 1ヶ月600円 郵送料 1ヶ月160円

# 新社会ちば

2001年4月 第20号

発行：新社会党千葉県本部  
千葉市中央区新千葉2-1-1新千葉ビル4F  
TEL 043-244-6865 FAX 043-244-3860  
メール sinsky@lily.ocn.ne.jp  
ホームページ http://www1.ocn.ne.jp/nsp/



国民生活の向上をめざします

## 矢田部・長南予定候補が訴え

矢田部理（参議院比例区予定候補）・長南博邦（同千葉選挙区予定候補）の両氏は、国民生活の向上をめざす政治の枠組みをつくりうと、全県で政策を訴えている。

リストラと雇用の不安、消費税増税・年金・介護保険料徴収など実質所得の目減りは、労働国民の生活から、未來への展望を奪っている。生活の安定なしに、景気の回復はあり得ない。両氏はこの点を訴え続けている。

県政の発想を「県民中心

## やさしさある政治不信

堂本新知事への期待と責任はきわめて大きい。県民の声を聞いて歩くところである。

## 行政情報の公開

第一は、すべての行政情報を、行政のサイドから積極的に公開し、県民看視の中で県政を展開することである。

湾岸道路問題の解決、②

新産業三角構想や、東京外郭環状道路、首都圏中央道、など環境破壊の道路計画を含む公共事業見直し、③介護・福祉・医療支援政策の具体化、

④管理制度のストップ、のびのび教育の実現、⑤子育て支援政策、⑥産業廃棄物の不法投棄問題解決、⑦生産農家の価格安定政策と消費者の連帯強化、など新知事の公約でもあり、県民が強く求めてきた焦眉の課題である。

新社会党は、県民が求める県政改革の断行に、

積極的に協力していく。

## 長南等務所を開設しました

参議院選挙も告示まで100日を残すだけとなりました。残された期間を精一杯活動するための事務所を開設しました。お立ち寄りください。

千葉市中央区新千葉2-1-1-2F  
(県本部の入っているビルの2階)  
千葉駅西口より5分  
TEL 043-302-0373  
Fax 043-244-3860



丸・君が代の  
訴える人たち  
にすごい剣幕  
で食ってかかる  
初老の女性を目指した  
▼「ど」の国でも、国旗・  
國歌があるじゃないか」と  
いう言い分だ。こんな單純な手合いには文部省も大喜びだろう。問題は国旗・國歌を利用されてきた歴史的背景にあるのだ。一九四五年、独伊は自らのファシズムを清算、民主共和国になったときだけが、天皇主権から相変わらず、「君が代(天皇主権)が千代に八千代(千年)に続くように」というわけだ。侵略の先頭にたつた国旗・國歌を変えて平然としている感覚は、日本人の戦争責任と一体のものだ。被害者意識が強く、加害者意識はない。日本の戦争責任を裁いた独伊国民とは大きな隔たりがある。去年の秋よ、つわものに、召し出されて、日の丸を、敵の城頭、高々と、一番乗りに、うち立てた、手柄はためく、勝ちくさ。(日の丸行進曲)。やがんだ愛国心だ。

第三に、当面する具体的課題の解決を急ぐことである。

## 急げ課題解決

市基盤(生活道路・下排水等)の整備は遅れ、地価は高騰を続けてきた。

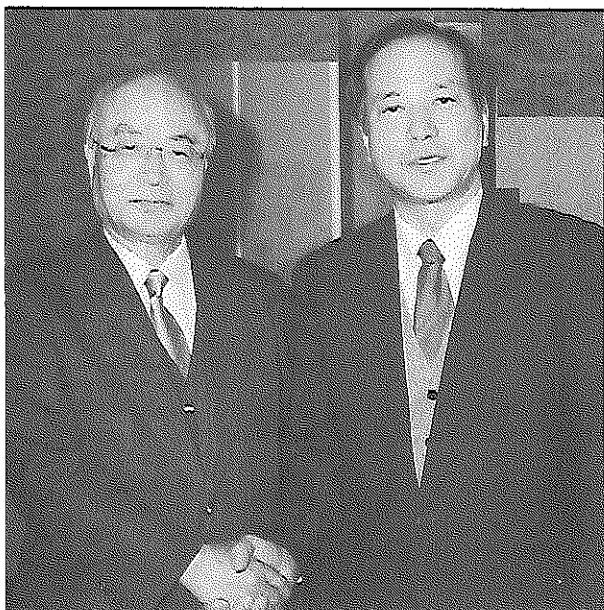
新知事の仕事は、まず

「新社会」(本紙)の購読を  
購読料円六百円、郵送料円百六十円  
※お申し込みは、新社会党県本部へ  
但〇四三一一四四一六八六五

# 船橋市議補欠選挙に再起を期す

# 浦田秀夫

船橋市議補欠選挙（二名欠）が六月十七日告示、二十四日投票と決まりました。新社会党は、浦田秀夫前市議を公認し、総力を挙げて闘う。浦田氏は九十九年、四期目に挑戦、三十四票差で苦汁をなめた。それだけが盛り上がっている。



**リハビリ病院の建設**  
高齢者の介護は保険ではなく、公費でまかなうことを求めながら、認定制度やケアマネジャーの公的採用など現行の介護保険の抜本的改革をはかります。リハビリ病院を中心とした医療・福祉センターの実現に努めます。

**二十五人学級の実現**  
また、地域に在宅福祉の拠点センターを設置させます。

**三番瀬埋め立て中止**  
三番瀬埋め立て計画は中止させ、東京湾の自然環境と漁業を守ります。

**教育基本法の「真理と平和を希求する人間の育成」を教育の原点におき、体罰や校内暴力をなくします。二十五人学級の実現、学校給食の改善、父母負担の軽減などを実現します。また、障害のある子も健常児も一緒に学べる統合教育の実現をはかります。**

**商店会への助成を**  
中小企業への公的融資制度の拡充、市内業者への優先発注、地域商店会への助成制度など地域経済を活性化させます。

**利権政治を追放**  
公共事業の見直し、入札制度の抜本的改善、政治理論条例の制定などにより、利権政治を追放します。高金利の市債の借り換えや税金の無駄遣いを確保し、福祉の充実に充てます。

# 船橋市政を変えましょう

平和行政を推進  
都市宣言に基づく平和行政を推進します。

安心して住める  
団地づくり  
環境を破壊し居住者に不安を与える公団の一  
子供や女性、障害者や高齢者の人権を守ることを市政の原点として、平和行政を推進します。

的な建替計画を変更させ、高齢者から若者まで安心して住める団地の再生実現に向け市や公団との協議を進めます。

「こんな課題に取り組みました」

★入札制度の透明性、競争性を高めることを提言、その一部が改善され税金の節約を実現。

★直営・自校・食堂・選択方式の中学校給食を提言し、自校・食堂・選択方式で実現。

定させた。

★高根台公民館に地域福祉活動拠点のボランティア室の設置と図書館的機能をもつた図書室を実現。

★前原団地建て替え問題に取り組み高齢者対策など一定の成果をあげ、さらに高根台団地の建て替え問題を取り組む。

★東葉高速鉄道と新京成線の北習志野駅での直接乗り換え、高根公団駅とさつき台間のバス増便、通学路の確保など実現。

★三番瀬飛の台貝塚、薬園・台南公園、丸山公園等の自然環境、歴史文化財、緑の保全に取組む。

## 浦田秀夫と一緒に船橋市を変えましょう

- ・船橋市にお住むまいの方をご紹介ください。
- ・チラシ配布、事務所での作業など手伝ってください。
- ・活動資金のカンパをお願いします。
- ・事務所 船橋市高根台 6-38-9  
新京成線、高根木戸駅より高根木戸中央通り商店街を通り5分
- ・TEL・FAX 047-461-1350
- ・Eメール hideo@urata.office.ne.jp
- ・http://www.ceres.dti.ne.jp/~urata/

### 浦田秀夫後援会へご入会を

浦田秀夫後援会は、浦田さんの活動を支え、会員相互の懇親を深め、平和で住み良い船橋市をめざします。会費は年間1口千円です。郵便振替口座

00160-3-98585

浦田秀夫後援会



後援会の皆さんと旅行へ (2000年11月)

## 浦田秀夫の経歴

1950年 安房郡鋸南町生まれ (51歳)  
1969年 県立館山高校電気科卒、同年、電電公社入社  
1987年 船橋市議会議員に初当選、以後3期連続当選

<現在>  
高根木戸東町会顧問、高根木戸中央通り商店会役員  
旭通り商店会顧問、高根木戸一番街商店会顧問、  
高根台陶芸クラブ会長、高根台将棋サークル相談役、  
高根台初心者囲碁の会相談役、社交ダンスサークル会員、  
船橋・憲法を活かす会代表委員、社会党船橋総支部委員長

ふるって参加しましょう  
国労千葉「団結まつり2001」

とき：5月13日（日） 10:00～15:00

ところ：千葉公園運動広場